

## 企業メディアは今、民衆にとって実存的脅威となっている

【訳者注】メディアの事情はアメリカも日本も同じである。これはあらゆる人々に読んでいただきたいが、特に来年度、大手メディアに就職が決まっている若者たちに、読んでいただきもう一度考えてみていただきたい。そういう職を選んだ若者は、ニュースに敏感なはずであり、例えば、いま言われている“フェイク・ニュース”という言葉に引っかかっているはずである。そして何よりも、あなた方は国民や国家に対する責任感が、古老のボスなどより旺盛なはずである。もし、どうしてもこの世界へ入るなら、改革を目指して戦ってほしい。大げさに言うなら、あなたの筆一本に（ニュースキャスターなら言葉の一つに）日本の将来がかかっている。たった一人のドイツのジャーナリスト Udo Ulfkotte（最近亡くなった）の行動によって、どれだけ世界が目覚めたかしれない。

<http://www.dcsociety.org/2012/info2012/160205.pdf>

すでに社員になっている人たちも、退職するか、留まるなら思い切った行動をしていただきたい。大挙して退職するのが一番良い。乱暴なことを言うようだが、これを読んでみれば、「人民の敵」という言い方が誇張には聞こえないだろう。ケムトレイルのことがタブーになっている気象予報士にも、理由を言って退職することをお勧めする。

SOTN (State of the Nation)

January 22, 2017



大量欺瞞兵器

主流メディアは閉鎖し、そして/または即刻、接收されなければならない

真の野蛮人は表玄関にはいない、彼らはもう何十年も前から奥にいる——何十年も前から。

State of the Nation (<http://stateofthenation2012.com/?p=63285>)

まことに、もしアメリカ人民を裏切り命を狙う敵がいるとしたら、それは主流メディアである。

<http://stateofthenation2012.com/?p=50948> (主流メディア：真の人民の敵)

主流メディアの最上層部をなしている多くの逆賊的な裏切者について、もし真実が知れたら、それはたちどころに閉鎖されることだろう。

いま、張り紙が壁に貼ってある——現在の企業**主流メディア**は、アメリカ人民と平和共存はできない。したがってそれは即刻、閉鎖しなければならない。

主流メディアは、支配者エリートの利益のために、民主的な諸制度を冷笑的に操作することができるときは、いつでも、それらを覆す決意をしていることが明白である。

主流メディアは、多くの大逆罪行為を犯し、ジェノサイドを教唆し、世界中の土着の人々の移住を強制し、イエロー・ジャーナリズムを使って、アメリカ人民を、挑発されたのでない侵略戦争へと堂々と駆り立てた。

主流メディアは、米国民の最上の利益のためには活動しないということ、そして、しばしば害を及ぼしているということ、を繰り返し証明してきた。主流メディアが、いたるところで、常にまき散らされている、非常に危険なケムトレール・エアロゾルについて、どれくらい報道したことがあるか？

<http://stateofthenation2012.com/?p=5556> (ケムトレール・シンドローム：最大規模の地球的流行病)

主流メディアは、アメリカ市民に対する大罪の調整と隠ぺいに、直接、関与してきた。9・11 ニセ旗テロ攻撃は、これらのメディア合同企業が罪を負うべき、恥知らずの行動のほんの一例にすぎない。

<http://stateofthenation2012.com/?p=7293> (9・11 答申：米歴史上最大の隠ぺい事件に対し有罪の主流メディア)

アメリカ共和国と人民に対する他の深刻な攻撃には、J・F・ケネディ、ロバート・F・ケネディ、マーチン・ルーサー・キング Jr、マルコム X、ジョン・レノン、マリリン・モンロー、など多くの著名人の暗殺がある。

主流メディアは少なくとも、オクラホマ市記念堂爆破、バージニア工科大学虐殺、サンディフック小学校大量乱射、サン・バーナーディノ乱射事件の真相を、隠ぺいした。これらは他の多くの、政府スポンサーによる、ニセ旗テロ攻撃やブラック作戦の一部である。

実際、主流メディアが次々と犯した隠ぺいの、赤裸々でショッキングな裏切りには、止めどがないように思える。これらの、アメリカの国土での恐ろしい攻撃や暗殺について、主流メディアがどれほどまで、前もって知っていたかは、綿密に調べてみなければならない。

真相を知っていたという話の多くは、表面的には、いかにもひどいと思えるかもしれない。しかし少し深く調べてみれば、主流メディアは、これらの国家スポンサーによる犯罪を知っていたはずだと、直ちにわかる。その直後に行われた新聞社の説明は、常に、政府の書いた物語を反映しており、それが大衆に異常な執拗さで押し付けられている。この同じやり方が、災難の大きさや、アメリカ人死傷者の数がどうであろうと、一貫して押し通される。

## 主流メディアが乾杯され、トランプが音頭を取る

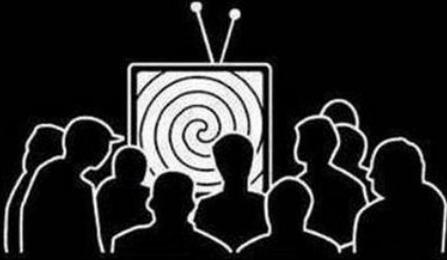
これについて間違わないでほしい——主流メディアは新しく出発し、ドナルド・トランプが祝杯の音頭を取る。

どうしてそうならないことがあろうか——主流メディアが毎日のように、米国大統領の人格攻撃を行っているというのに？ 彼らのスキャンダル・ニュースには、国家安全を深刻に危うくするリークが入っているだけではない。それらは、新しい大統領と彼の閣僚やアドバイザー・チームを危険にさらしている。

選挙運動の期間中、主流メディアは、毎日のように、トランプを貶める虚偽やねつ造をまき散らしていたことが明らかになった。これらの、あからさまな、完全に故意によるウソのいくつかは、大統領選挙サイクルの中に挿入されていたもので、CFR（外交問題評議会）の選んだ候補者が、トランプの悪評から利益を得るように使われた。

<http://stateofthenation2012.com/?p=46065>（主流メディアは、露骨なキャンペーン詐欺と選挙票盗みへの共犯者になった）

There are 1500 newspapers, 1100 magazines, 9000 radio stations, 1500 TV stations, 2400 publishers...



Owned by only  
6 corporations.

この古典的な、真理をもたらす者を常に殺す（文字通りにも比喩的にも）という手法は、現代史上の他のどんな政治リーダーにも増して、トランプに対して用いられた。体制権力は、トランプに力を得た民衆の運動を止める方法は、その代弁者の評判を完全に傷つけることだと知っている。その目的のために、イルミナティをコントロールする者たちは、6社全部の大手メディア企業の助力を結集して、トランプの失敗や違法行為をねつ造し、へまや間違いを作り上げ、叩いて埃を出し、争いをでっち上げて、虚偽の噂をばら撒いている。

<http://cosmicconvergence.org/?p=2422>

実を言えば、そのすべては拵えた劇場に帰着するのであって、そこでは主流メディアの大物は、ハリウッド・スターと結婚し、ベルトウエイ（政治中心地）インサイダーはシリコン・バレーの帝王に出会い、大物は大物と気脈を通じている。同じことは、CIA と FBI、NSA と DIA（国防情報局）、またこの頃は、公共政策を事実上指令する、沢山のハイパワー・シンクタンクについても同じである。現在、彼らの共通の敵はもちろん、ドナルド・J・トランプ大統領である。

さらに、最初に外交問題評議会が日米欧三極委員会と合意し、またビルダーバーグ会議が 3 百人委員会と合意して、“ザ・ドナルド・ショウ” は絶対に必要な極限よりも一日も先へ続いてはならない、と決めたのも事実である。トランプが大統領出馬を宣言したその日に、彼に対する反対運動を始動させたのは、この目的のための全会一致であった。

ここで肝心な問題は、これらの組織や実体は、秘密であろうとなかろうと、何十年という年月をかけた、組織内の通婚や近親結婚的な政策創案によって、固く結ばれていることである。実際、そこに見られる相互に絡み合った重役職は、あの小さな“軍-産複合企業”などよりよほど強力な、一枚岩的な、**政府-企業複合体**が存在することを指し示している。

<http://stateofthenation2012.com/?p=3619>（政府-企業複合体は、米合衆国を完全にコントロールしている）

それだけでなく、アメリカ合衆国の影の政府の、真の深さと幅は、**世界の影の政府**に不可分につながっている。双方が、同じ隠れた行政府や、秘密の過程や手法の多くを共有している。そして主流メディアこそが、これら多くの関係を秘密に保ち、必要ならば消し去るのである。

主流メディアが何十年にもわたって、四六時中、ニセ物語を映写していなければ、**地球コントロール・マトリックス**は何年も前に崩壊していたであろう。

これこそ主流メディアが、直ちに閉鎖されなければならない理由である。

なぜなら、メディアを支配する者は世界を支配するというのは、全く本当だからである\*。この自明の真理が疑われたためしはない。だとすると、なぜアメリカ人民は、彼らのかつての独立した新聞を、こんなふうにした手放してしまったのだろうか？ それは、すべてが密かな騙しの方法によってなされたからである。そして主流メディアは常に、アメリカ共和国の篡奪に不可欠の役割を演じてきた。

<http://cosmicconvergence.org/?p=2422> (\*誰が本当に主流メディアをコントロールしているのか?)

## 世界の影の政府

トランプ大統領が政府を人民の手に奪い返す方法は、一つしかない——彼は世界の影の政府の軛（くびき）を折らねばならない。これは主流メディアを閉鎖し、そして/または接収する（take over）ことによってのみ可能である。他に方法はない。

<http://stateofthenation2012.com/?p=4955> (避けられない CIA の主流メディアの廃止)

主流メディアが逆賊的な実体として働くことを許されている限り、それはアメリカ共和国を大きく覆し、米国憲法を転倒させ、アメリカ人民を裏切るだろう。

## おわかりだろうか？

これを理解していなければならない。なぜなら共和国はいま、糸一本でぶら下がっていて、いつ切れてもおかしくない状態にある。もし新しい大統領が成功すれば、主流メディアの情報独占に終止符を打つはずである。しかし彼は最初に、中央情報局（CIA）を解体しなければならない。主流メディアを完全にコントロールしているのは、CIA だからである。

<http://stateofthenation2012.com/?p=63299> (米中央情報局は閉鎖されなければならない)

読者は今、どのようにこのゲームが、アメリカ人民に仕掛けられてきたか、お分かりだろう。解決の道は、上に述べた以外にない！